

令和5年度

事業実績報告書

施設名： 向山ブルースカイ

事業所名	向山ブルースカイ			職名	人数	備考
施設長・管理者名	尾川友美子			施設長	0.5名	兼務
実施事業	就労継続支援B型			サービス管理責任者	0.5名	
開設年月日	平成3年4月1日			生活支援員	1名	
所在地	鳥取県倉吉市和田東町向山914-58-2			職業指導員	5名	
正規職員(総合職)数	2名			目標工賃達成指導員	1名	
正規職員(一般職)数	2名				名	
準職員数	フルタイム 2名 : パートタイム 0名				名	
契約職員数	フルタイム 1名 : パートタイム 1名				名	
定員	20名	実績利用者数 20.8名/日	充足率 104%	計	8名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	ご利用様が、自立した日常生活及び、社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動・余暇活動の機会の提供を通じて、知識と能力の向上のために、必要な就労訓練と意欲向上を適切かつ効果的に行うものとし、一般就労に必要な知識能力が高まれば、一般就労に向けて支援をします。また、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、福祉関係サービス事業所との密接な連携を図り、総合的な福祉サービスの提供と「明るく、楽しく、元気よく」安心できる施設づくりに努めます。					
2 運営	<p>(1)ご利用様の様々なニーズに適応する個別支援計画を作成し、支援計画に基づいた支援を進め、定期的なモニタリングから、良好かつ向上に繋がる就労と生活活動を提供して支援を行います。</p> <p>(2)就労継続支援として、ご利用様の意思を尊重し、働きやすい就業環境の整備を図り、生産活動や就労に必要な知識を高め希望・能力に応じて、一般就労への移行を目指します。また、全てのご利用様が個々の希望や能力に応じて、従事できる作業内容や働きやすい作業環境を整え、工賃向上へ向けて取り組み、一般就労、自立へと繋がる支援を行います。</p> <p>(3)障がい者就業・地域生活支援センター等の関係機関と連携し、連絡調整等を行い、ご利用様をしっかりと支えるサービスを行います。</p> <p>(4)職員においては“思いやり”と“感謝(おかげさま)の心”をもって、言葉遣い・対応など接遇力の向上に努め、楽しく和みある施設づくりに進めます。</p> <p>(5)安心して安全な生活ができる環境を作るため、施設内環境・施設外庭園整備の日毎月掃除の日を設けて行います。</p> <p>(6)施設利用満足度調査を実施して支援サービスの状況を検証し、より良い施設作りに努めます。</p> <p>(7)自主製品のPR活動を行い販売促進、販路拡大に努めます。</p> <p>(8)コスモスプロジェクトとして、「苗を作る・植える・種の収穫」を行い、運動会に来訪されたお客様に収穫種を渡す、咲いた花を加工し合同作品展の装飾等に活用することで、ご家族様や地域の方々との繋がりや親睦を深めます。</p>					
3 主な実施事業	(1)施設整備事業 高圧ケーブル取替工事 他 1,257千円			(1)施設・設備整備実績 駐車場整備工事 他 1,956千円		
(2)事業活動	<p>(2)事業活動計画</p> <p>①ポッチャ大会をわかりやすいルールで行い、心身の健康作りを行います。</p> <p>②作品展を行い、施設を公開して年間行事の紹介と職員も含めた個人作品を展示。ご利用様が担当する各種コーナーを作り、ご家族様や地域の皆様と一緒に楽しみながら地域交流を行います。</p> <p>③社会見学研修旅行に貸切バスで出掛け、見聞を広めるとともに県外の観光地の特色に触れながら、ご利用者様同士や職員との親睦も図ります。</p>			<p>(2)事業活動実績</p> <p>①ポッチャ大会 はわい夢広場にて湯梨浜DSのご利用者様・職員数名と交流しながら実施した。</p> <p>②作品展 ご利用者様のご家族や親戚のみをお招きし、作品展示、年間行事写真のスライドショー、喫茶コーナー、ステージ発表、菓子販売を行った。</p> <p>③社会見学研修旅行 貸切バスで倉敷美観地区に出掛け、茶碗絵付け体験、観光、買い物を満喫し、ご利用者様同士や職員との親睦を深めた。</p>		

<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<p>(1)安全対策委員会を開催し、ヒヤリハット・アクシデント・施設内点検の報告をもとに検証を行い、その結果を踏まえ事故防止に努める。また、運転前後にアルコール検知器を用いて検査・記録し酒気帯び運転を絶対に行うことなく、事故・トラブルのない安全運転への意識を高めた運行を行います。</p> <p>(2)設備・器具及び備品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンス、環境整備や建物の安全管理を行います。</p> <p>(3)感染症対策委員会を開催し、衛生面の向上や感染症予防・対策について話し合いや研修を行い、手指のアルコール消毒を継続します。</p> <p>(4)虐待の未然防止、虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討を行うため、虐待防止委員会(身体拘束等の適正化も含む)を設置し、委員会での検討結果を周知徹底していきます。</p> <p>(5)ご利用者様は、毎月2回嘱託医による健康相談、半年毎の大腸がん検査と細菌検査、年1回定期健康診断で健康管理を行います。菓子製造のご利用者様は細菌検査を毎月行います。</p> <p>(6)送迎業務の運転手について健康状況や体調等を把握し、適任者による運転を行い、必要に応じて運転手以外の介助職員が同乗し、安全な送迎を行います。</p> <p>(7)車両について、使用前の日常点検等をし、安全管理を徹底するほか、運転の状況等を把握するため、運転日誌等の記録を行います。</p>	<p>(1)ご利用者様が毎日安心且つ安全に生活していただけるよう、安全対策委員会を毎月開催しヒヤリハット・アクシデント・施設内点検の報告をもとに検証を行い、その結果を踏まえた事故防止を行った。</p> <p>(2)設備・備品・建物等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具のメンテナンス等環境整備を実施した。</p> <p>(3)新型コロナウイルスを含め、感染症予防の為、感染症予防対策委員会を開催し予防対策・アルコール消毒対策の徹底を実施した。</p> <p>(4)障がい者虐待防止、身体拘束等の適正化について、委員による委員会と全員を対象に研修を行い他の職員へも周知した。</p> <p>(5)ご利用者様は、毎月2回嘱託医による健康相談、半年毎の大腸がん検査と細菌検査、年1回定期健康診断を実施した。菓子製造のご利用者様は毎月細菌検査を行った。</p> <p>(6)送迎運転手の出勤時の体調等状況を判断して道路交通法を遵守し、安全第一な送迎を実施した。安全運転管理者講習受講。</p> <p>(7)車両について使用前、使用後の点検を行い故障異常等が無い点検し利用者様の安全確保に細心の注意を払う運転を行った。運行日誌記録を行った。</p>
<p>5 防火・防災・救助体制</p>	<p>(1)ご利用者様の実態に即した防災訓練、防犯訓練、消火訓練(最低年2回)及び災害訓練として、火災・風水害・土砂災害に対する避難訓練を実施します。</p> <p>(2)職員は、消防署職員指導の下、消火訓練や救急救命訓練を行います。</p> <p>(3)向山地内、施設周りの点検及び危険箇所の把握(環境整備)や、積雪・凍結時にも対応できるよう、向山3施設で協力体制をとりながら安心して過ごせる環境を提供します。</p>	<p>(1)防災訓練、災害訓練、消火訓練を年2回行った。(10月・12月)</p> <p>(2)消防署職員指導の下で消火訓練や救急救命訓練を行った。(10月)</p> <p>(3)向山3施設打ち合わせ会を毎月予定し、各施設にコロナ感染者があった月を除き実施。向山地内、施設周りの点検及び危険箇所の把握や協力体制をとりながら安心して過ごせる環境の提供に努めた。</p>
<p>6 職員の資質の向上と研修</p>	<p>(1)外部研修への参加</p> <p>① 障がいの理解や就労支援について研修会参加を通じ技術の習得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県社会就労センター協議会への参加 ・鳥取県身体障害者福祉施設協議会への参加 ・鳥取県就労事業振興センター協議会への参加 <p>② 商品開発、販売研修会の参加を通じ、モチベーションアップ・自己研鑽を促し情報収集等による先進的な技術の習得に努めます。</p> <p>(2)法人内部研修への参加</p> <p>法人内の研修は研修内容に応じた職員が参加し、施設の業務に活かします。</p> <p>(3)施設内のOJT・職場研修の実施</p> <p>① 職員全員が協力し合って働くことができる(協働と連携)チームワークを形成していくために、施設内会議、各種委員会、職場研修等でスキルアップを目指します。</p>	<p>(1)外部研修への参加実績</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県社会就労センター協議会 総会に参加 ・鳥取県身体障害者福祉施設協議会 施設長会・各3部会に参加 ・鳥取県就労事業振興センター協議会 都合により不参加 <p>② 商品開発、販売研修は担当者の都合が合わず不参加</p> <p>障がい者虐待防止研修リモート参加、社会福祉法人会計実務研修参加、苦情受付担当者研修参加、苦情解決責任者研修リモート参加、部落解放研究倉吉市集会参加、</p> <p>(2)法人内部研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月毎のWeb研修に参加。各回別の職員が主となり受講した。 ・一般職員研修、中堅職員研修、管理職員研修に参加。 ・心と体の健康推進講習会(出張がん予防教室)参加。喫煙のリスクを学んだ。 ・高齢者福祉専門部会スキルアップ研修参加。自立支援について学んだ。 ・あいサポーター研修の講師を施設長が行った。 <p>(3)施設内のOJT・職場研修の実施</p> <p>①職員会後等に職場内研修を行い、熱中症や食中毒、感染症について学び、全職員が共通理解を深めた。</p>

6 職員の資質の向上と研修	<p>② 研修参加者は伝達研修を行い今後の支援に活かせるよう共通理解を図ります。</p> <p>③ 実務経験の少ない職員については、知識・技術・経験の高い職員により実務を通じた丁寧な育成を行い施設職員全体の知識や能力の資質向上を図ります。</p> <p>(4) 職員の資格取得のための取組み 法人の「国家資格等取得者に対する助成要綱」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格所得意欲とキャリアアップを促します。</p> <p>(5) 職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底 朝の打合せ会で、本日の欠席者及び各種予定報告を行い周知し、夕方の打合せ会では、本日の出来事を状況説明し再確認してから、担当者ごとに業務記録簿に記入していき、必要に応じて特別委員会・施設内稟議・議事録作成して周知徹底します。</p>	<p>② 研修参加職員は研修参加後に報告・伝達を行い共通理解を図った。</p> <p>③ 実務経験の少ない職員に知識・技術・経験の高い職員が実務を通じた丁寧な説明や指導を行い育成を進めた。</p> <p>(4) 職員1名が社会福祉主事資格認定過程を受講し終了。</p> <p>(5) 職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底 始業時に当日の欠席者及び予定等の報告を行い、日中の出来事や気付き等について、随時又は終業時の打ち合わせで報告・状況説明・相談を行った。特別委員会の開催は行わなかったが、施設内稟議や記録を行った。</p>
7 SDGsの取り組み	<p>目標3 すべての人に健康と福祉を ・ご利用様が虐待やハラスメント等のない施設で安心安全に生産活動や余暇活動、日常生活ができるよう、職員研修や委員会活動等で障がいや難病のある人への理解と配慮に努めます。また、ご利用様と職員の人権や尊厳が守られた上で、誰もが相談しやすい施設内の環境づくりに努めます。</p> <p>目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・ご利用様に分かりやすい表示と説明をし、節電・節水・リサイクル・ゴミの削減運動に取り組みます。</p> <p>目標12 持続可能な生産消費形態を確保する ・エコキャップと使用済切手の収集をご利用者様やご家族様にもご協力を得ながら行い、施設の行事にリサイクル作品作り等を取り入れて環境問題への理解を深めます。</p>	<p>目標3 すべての人に健康と福祉を ・虐待防止委員会で障がい者虐待防止等について学んだ。誰もが相談しやすい施設内の環境づくりに努めた。</p> <p>目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・節電・節水・リサイクル・ゴミの削減に取り組んだ。</p> <p>目標12 持続可能な生産消費形態を確保する ・エコキャップと使用済切手の収集をご利用者様やご家族様にもご協力が得られ施設内で出たキャップや個人的に出たキャップも収集箱へ入れていただいた。作品展でペットボトルを使用した作品を作り展示した。</p>
8 職員の健康維持・増進	<p>(1) 毎月の細菌検査と年1回定期健康診断を行います。</p> <p>(2) 定期健康診断後は産業医の指導に基づき、早期発見、治療、予防を行います。</p> <p>(3) 職員一人ひとりが、食事・運動・生活習慣等に対し自身の健康状態や症状に合う継続しやすい年間目標を一つ定め、達成に向け取り組みます。</p>	<p>(1) 職員は毎月の細菌検査と11月に定期健康診断を行った。</p> <p>(2) 健康診断後、産業医の指導を受け数値が高いものがある職員に受診や治療を促した。</p> <p>(3) 職員一人ひとりが決めた目標達成に向け取り組んだ。100%達成とはならずも、目標を意識して生活することができた。</p>
9 各種団体との連携と地域交流	<p>(1) 広報誌の発行・配布 発行回数：春・夏・秋・冬号 年4回 配布先：障がい者就労・相談支援施設、地区コミュニティセンター、中部地区市町、社会福祉協議会など</p> <p>(2) 地域交流行事 年8回 5月 ボッチャ大会、6月 倉吉市身体障がい者体育大会、10月 鳥取県身体障がい者体育大会、11月 作品展、1月 倉吉市部落解放文化祭、とんど祭り、6月と10月 倉吉養護学校産業現場実習受入れ</p>	<p>(1) 広報誌の発行・配布 年4回発行予定を7月から毎月発行に変更した。 ご家族様や障がい者就労支援センター、相談支援施設、地区コミュニティセンター、中部地区市町、社会福祉協議会などに配布した。</p> <p>(2) 地域交流行事 5月 ボッチャ大会 湯梨浜みのりデイサービスと交流 6月 倉吉市身体障がい者体育大会 参加 11月 作品展 ご家族様やご親戚の方を招待 1月 倉吉市部落解放文化祭 作品出展、とんど祭り 向山3施設合同 6月のみ 倉吉養護学校産業現場実習受入れ(10月は希望者なし) 10月 鳥取県身体障がい者体育大会 不参加</p>

季節・年間行事

施設名： 向山ブルースカイ

実施月	行事計画	行事实績
令和5年 4月	・誕生会・創立記念昼食会・花見外出・クラブ活動	・5日 花見外出・14日 創立記念会・20日 誕生会・21日 クラブ活動
5月	・誕生会・端午の節句会(Ⅰ)・ポッチャ大会 ・クラブ活動	・12日 端午の節句会(Ⅰ)・16日 誕生会・19日 クラブ活動・26日 ポッチャ大会(はわい夢広場)
6月	・誕生会・端午の節句会(Ⅱ)ちまき作り ・倉吉市身体障害者福祉協会体育大会・クラブ活動	・2、23日 クラブ活動・4日 倉吉市身体障害者福祉協会体育大会 ・9日 端午の節句会(Ⅱ)ちまき作り・6月の誕生者なし
7月	・誕生会・小遠足・七夕会・避難訓練(1回目) ・クラブ活動	・7日 七夕・映画鑑賞会・12日 誕生会・21日 クラブ活動・28日 小遠足(パープルタウン)
8月	・誕生会・納涼会・映画観賞会・クラブ活動	・4日 納涼会・17日 カフェ社外出・25日 クラブ活動・30日 誕生会
9月	・誕生会・社会見学研修旅行 ・鳥取県障害者体育大会・クラブ活動	・8、29日 クラブ活動・14日 誕生会・22日 社会見学研修旅行・鳥取県障害者体育大会 不参加
10月	・誕生会・ハロウィン祭・小遠足・クラブ活動	・5日 避難訓練(1回目)・19日 誕生会・20日 小遠足(水木しげるロード)・27日 クラブ活動 ・30日 ハロウィン祭
11月	・誕生会・小遠足・避難訓練(2回目)・クラブ活動	・10日 クラブ活動・16日 誕生会・18日 作品展
12月	・誕生会・クリスマス会・忘年会・仕事納め会・クラブ活動	・15日 クラブ活動・15日 避難訓練(2回目)・13日 誕生会・25日 クリスマス会 ・29日忘年会・仕事納め会
令和6年 1月	・誕生会・仕事始め会・とんど祭り・クラブ活動	・4日 仕事始め会・12日 とんど祭・12日 クラブ活動・18日 誕生会
2月	・誕生会・節分祭・映画観賞会・クラブ活動	・2日 節分祭・16日 クラブ活動・15日 誕生会
3月	・誕生会・桃の節句会・記念撮影・クラブ活動	・8日 桃の節句会・8日 クラブ活動・13日 誕生会・28日 記念撮影・29日 花見外出